

議 事 録

会議名 第8回第三次町田市地域福祉活動計画推進委員会	開催日時 自：13時30分 平成28年2月25日（木）至：15時20分
出席者 10名 欠席者 1名	小野敏明・高橋協子・島峯紀子・服部くに子・岩崎俊男・田部井眞・興野安雄・田中瑤子・市川恵子・平林隆彦（遅参） 矢島史稔
会長・常務理事 事務局	佐々木のり・鏑溝慶一 廣田事務局長・井上地域福祉推進室長・小野主幹・横井主幹・永田主幹・藤田主幹・星統括主査・荒木統括主査・井藤主査・宮本主査・坂森主査・小林主査・仲泊主査・内田職員
配布資料 1 第8回委員会次第 2 平成27年度基本計画まとめシート 3 平成27年度取り組みの視点別成果判断シート 4 平成27年度重点計画シート 5 第四次町田市地域福祉活動計画策定に向けてのアンケート・返信用封筒 6 CSW 研修予定表、参加報告書まとめ（平成27年度6月・11月実施分）	
開 会	事務局は、定刻となったので開会を告げた。
常務理事挨拶	常務理事は、出席委員に参集のお礼を述べ、第三次町田市地域福祉活動計画推進に対しての協力を依頼した。
委員長挨拶	委員長は、出席委員に参集のお礼を述べ、委員へ平成27年度活動計画の実施状況評価の協力を依頼した。  委員長は、平成27年度活動計画実施状況評価に入るため、報告を事務局に求めた。
副委員長	事務局は、平成27年度の基本計画別まとめシート、取り組みの視点別成果判断シート、重点計画まとめシートに基づき、各実施状況について報告した。  委員長は、基本計画1-1に関して委員へ質問、意見を求めた。
事務局	地域の課題やニーズ把握のために全町内会・自治会へアンケートを行ったとのことだが、回答率はいかほどか。  アンケートは、市の地域福祉計画と、社協の地域福祉活動計画をお互いが連携して来年度中に策定するために、市内地域活動団体に向けて行った。全体の回答率は約7割（67%）で、その中でも町

議 事 録

<p>常 務 理 事</p>	<p>内会・自治会は23.2%で民生・児童委員の25.6%に次いで多かった。</p> <p>補足だが、市は地域福祉計画の策定に向けて既に動いている。そこで市民へ実施するアンケートに、社協に関係する内容も含めてもらった。社協単独で市民アンケートを実施した場合には、個人情報の問題があり宛先が限られてしまうが、市は一定のルールの基に広く市民にアンケートを取ることができるので、市に協力いただき、一緒にアンケートを実施させていただいた。</p>
<p>副 委 員 長</p>	<p>小・中学校との連携による福祉学習のプログラムの内容はどのようなものか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>昨年度に福祉学習資料としてDVDを作成し、市内の小・中学校に配布した。DVDは二部構成となっており、第一部が高齢者とその孫が外出する中で、階段昇降や座席の譲り合いについて孫の目線から見た内容、第二部は視覚障害者が大学に通いながら自立生活をする内容や発達障がい児の生活の中で皆と大きな違いがあるわけではなく個性なのだという親のメッセージが込められた内容になっている。</p>
<p>副 委 員 長</p>	<p>実体験に基づいた内容はあるのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>多様なボラ団体と一緒に学校に出向き、車いす・アイマスク体験を行ったり、視覚障がい者から直接話を聞くなどして、子どもたちが、自分のできることを考え、障がいのあるなしにかかわらず一緒に地域でよりよく暮らしていくことについて学んでいる。</p> <p>委員長は、他に質疑がなく、基本計画1-1の評価について委員に諮ったところ、関連事業1から4の今年度評価はいずれもAとなった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画1-2に関して委員へ質問、意見を求めた。</p>
<p>委 員</p>	<p>社協だより、インターネット等の情報提供の改善について、ボランティア登録者の掲載はどの程度の周期で更新したのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>ホームページは月2回の定期更新を行っている。ボランティア依頼・募集・登録団体の最新情報を掲載し更新している。</p>
<p>委 員</p>	<p>他団体の情報収集や提供のあり方について、外部ホームページと</p>

議 事 録

事務局	<p>のリンクについて検討したとあるが、検討した結果、実施したことはあるのか。</p> <p>町田市内の地域・市民活動情報を集めたサイトがあり、リンクでつながることができたらと考えていたが、そのサイトが閉鎖してしまった。市生涯学習センターとボランティアセンターの事業で同じような内容を実施していたり、生涯学習センターの人材バンク登録者とボランティアセンターのボランティア登録者が重複していたため、情報共有して事業展開ができたらと考えている。</p>
委員長	<p>ホームページのアクセス数は具体的に増えているのか。</p>
事務局	<p>具体的な数をお伝えできず申し訳ない。今年度はホームページのリニューアルを図ったことを社協だよりも掲載してアクセスの増加に努めた。具体的な声として、情報が探しやすくなった、見やすくなったという意見を頂戴している。</p>
委員	<p>社協だより、インターネット等の情報提供についての改善が目標である中、社協だよりのユニバーサルデザインのフォントを採用という実績とのことだが、書体の変更よりも新たな情報提供について何か着手したのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>従来の社協だよりの1面のあり方として、社協を周知し、市民により理解していただくための見出しについて、広報部会員に意見を頂きながら今年度は特に検討を行い、作成した。</p>
委員	<p>社協だよりは、毎年同様の1面記事として、例えば赤い羽根共同募金や歳末たすけあい募金等を掲載してきたが、それをヤキイモイイベントといった力を入れている事業を掲載するという取り組みは評価できる。成果判断シートには、ユニバーサルデザインフォントのこのみではなく、このような取り組みについて掲載した方がよい。</p>
事務局	<p>これから発行予定の社協だより3月1日号では、前年度1面の見出しは学童保育クラブで実施しているにこにこクラブについてであったが、学童保育クラブ事業自体について大きく掲載することで、市民への周知となるのではと考えて構成を変えている。今後も意識して改善していきたい。</p>
委員長	<p>社協だよりはなかなか紙面に余裕がないと感じる。</p> <p>社協だよりを市民に読んでいただく一番の方法は、福祉教育とタイアップして中学生に紙面の一部を編集してもらうと、その学区域</p>

議 事 録

<p>常 務 理 事</p>	<p>の市民は手に取ってくれる。例えば、中学生に市内福祉施設を見学して取材してもらい、写真と共に記事を掲載するといった方法もある。</p> <p>委員長は、他に質疑がなく、基本計画 1 - 2 の評価について委員に諮ったところ、関連事業 1 から 2 の今年度評価はいずれも A となった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画 2 - 1 に関して委員へ質問、意見を求めた。</p> <p>地区社協の設置については本計画の重点事業でもあるが、現在は市が進める地区協議会設置の動きに合わせて、あえて地区社協設置に向けた説明会や講座は未実施である。地区協議会は現在 9 地区に設置されているが、その活動内容はそれぞれ違っており、今後どのように展開していくかは情報共有をしながら確認したい。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>社協にとって地区社協の役割は重要なものである。南町田福祉ネットワークの「なんでも相談室『ちょこっと』」、玉川学園地区社協の「玉ちゃんサービス」といった住民によるたすけあい活動が実施されているが、これらの実績を把握しているか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>南町田の「なんでも相談室『ちょこっと』」は、現在、無料で行われており、対象地域を限定している。9 件程の依頼があった。「玉ちゃんサービス」は 1 1 月から試行し、8 件の依頼あり。有料で実施していて、利用者は 1 回の依頼に 8 0 0 円を支払い、内訳として 2 0 0 円が事務経費、6 0 0 円が協力者の活動費となっている。1 月には 5 ~ 6 件の依頼があった。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>このような地域住民の支え合い活動ができるのは、地区協議会にはない、地区社協ならではの特色である。これは社協にとっても大事な動きである。</p>
<p>委 員</p>	<p>玉川学園地区は高齢化が進んでいるので、これから更に需要が増えると思われる。</p>
<p>委 員</p>	<p>地区協議会は全 1 0 地区のうち 9 地区が設置されているが、設置されて間もないこともあり、地域福祉の分野まで手が回るかどうか心配がある。地域課題は地区によって違いがあると思われる。そのためにも、地区協議会の動きとは分けて、各地区に地区社協が設置されることが望ましいと考える。地区協議会が地域福祉分野の活動を始める時期が来たら一緒に活動すればよいし、地区社協のこれま</p>

議 事 録

<p>事 務 局</p>	<p>でのノウハウを発揮してほしい。その時も地区社協は存続させた方がよいと考える。</p> <p>例えば南町田福祉ネットワークでは、限られた地区でたすけあい活動をしているとのことだが、初めから地区全体で行っていくのは難しい。地区協議会においても経験のある町会を増やしていくことが大事と考える。</p> <p>それから、ボランティアマップを町田地区と南地区で作成とのことだが、これはどのような内容なのか。</p> <p>3月に完成予定である。地域の地図にボランティアグループやふれあいサロンの情報を入れている。各団体の紹介やメッセージを写真と共に掲載している。消防団の情報もある。最後に福祉施設等の紹介、ボランティアセンターの活動について、ボランティア保険の詳細も掲載している。この2地区のマップが完成すると、市内全5地区分が完成となる。</p>
<p>委 員</p>	<p>配布はどのように行うのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>各市民センターや高齢者支援センター等の各関係機関、民生・児童委員へ配布を行っている。あとは随時窓口で配布している。</p>
<p>常 務 理 事</p>	<p>この計画上では、地区社協は3か所設置を目標に掲げており、3つ目の地区社協は相原地区を想定していた。その段階で地区協議会設置の動きがあり、状況が変わってきたところである。地区社協と地区協議会に関わる地域住民が重複することが考えられるが、その時に役割を十分理解して混乱なく携わっていただけるように整理が必要である。地区社協設置という計画策定当初の精神は引き継いでいく。</p> <p>委員長は、他に質疑がなく、基本計画2-1、2-2の評価について委員に諮ったところ、関連事業の今年度評価はいずれもAとなった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画3-1に関して委員へ質問、意見を求めた。</p>
<p>委 員</p>	<p>ふれあいサロンの設置数が目標85団体のところ76団体という実績である。誰もが自由に利用できる地域の居場所作りにつながっているのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>昨年度は79団体の設置で、今年度と比較しても大差はなく、例年70～80団体を推移している。目標値を掲げる意味でも数値は</p>

議 事 録

常 務 理 事	<p>下げず高めに設定している。昨年度末から今年度へ切り替わる時に登録を解除したサロンがあった。サロンのスタッフが高齢化することにより解除につながるケースがあり、世代交代が見られる。社協の支援がなくても自立して活動可能となり解除に至るサロンもある。</p> <p>今年度当初に9サロンが登録を解除したとのことだが、そのうち自立して引き続き活動を行っているサロンはどの位あるのか。</p>
事 務 局	<p>最低でも3か所はある。</p>
委 員 長	<p>現在、市民後見人の受任者はどの位いるのか。</p>
事 務 局	<p>現在の受任者は都養成研修の修了者であるが、12名である。都養成研修の修了者で町田市に登録しているのが15名である。</p> <p>委員長は、他に質疑がなく、基本計画3-1の評価について委員に諮ったところ、関連事業1から4の今年度評価はいずれもAとなった。</p> <p>続いて、委員長は、基本計画3-2に関して委員へ質問、意見を求めた。</p>
事 務 局	<p>本日、コミュニティソーシャルワーカー研修予定表、参加報告書まとめ資料を配布させていただいた。これは基本計画3-2「複合的な相談に対応できる総合的支援部門の設置」の推進に向けて、各職員が必要な知識、スキルを持つために実施した内部研修である。実施にあたっては、主査連絡会が企画を行い、平成26年度に基礎編、27年度に応用編として、全7回を行った。講師は小野委員長に担当いただき、⑦のみ小野委員長の紹介で田園調布学園大学の村井祐一教授に依頼した。問題を抱えた本人だけでなくその家族全体の課題について具体的に考える機会をグループワークを通じて実践した。社協職員がコミュニティソーシャルワーカーとして意識し、積極的に取り組み、進められた研修であった。</p>
委 員 長	<p>研修予定表にもあるとおり、研修報告書まとめにある③～⑥については、一日の時間帯で土曜日と日曜日の2日間行った。</p> <p>委員長は、他に質疑がなく、基本計画3-2の評価について委員に諮ったところ、関連事業1から2の今年度評価はいずれもAとなった。</p>

## 議 事 録

委 員 長	<p>委員長は、他に質疑がなく、社協組織の基盤強化についての報告を事務局に求めた。</p> <p>事務局は、職員の育成について先述のコミュニティソーシャルワーカー研修の実施、財源確保について職員自身の意識啓発のためにファンドレイジング基礎講座を内部研修として行ったことを説明した。</p> <p>財源確保については、香川県琴平町社協では名産であるにんにくを使ったガーリックオイルを商品開発し、県の特産品として年間1千万円の売り上げがある。</p> <p>委員長は、他に質疑がなく、第四次町田市地域福祉活動計画策定に向けて事務局に報告を求めた。</p> <p>事務局は、第三次活動計画が4年を満了し平成28年度に最終年度の5年目を迎えるにあたり、第四次活動計画策定に向けて28年度に準備を進めることを説明した。第四次活動計画は、市地域福祉計画と連携して策定するため、活動計画の期間は平成29年度から32年度までの4年間とし、市の計画と終了年度を揃える。社協としては、第1回策定検討委員会を4月下旬に開催予定とし、検討を進めるために職員10名で構成する作業プロジェクトチームを組織した。現在6回の話し合いを重ねている。策定検討委員会は来年度5回程度開催予定である。作業プロジェクトチームでは、現在、第三次活動計画の振り返りと、市と協働した地区別住民懇談会の取り組みを行っている。</p> <p>そこで、第三次活動計画推進委員にアンケートを配布し、委員として策定、進捗評価を行ってきた立場からの意見を頂戴したい旨依頼した。</p> <p>これ以上委員からの意見はなく、本日の検討事項は全て終了したため、委員長は、その他の事項について事務局に報告を求めた。</p> <p>事務局は、次回の日程について、6月下旬とし、具体的な日程は、改めて通知することを報告した。</p>
常 務 理 事	<p>次回委員会では、5年計画の最終年度の目標値について議題となるが、具体的な成果が見えるような目標値の設定をしたい。早めに資料送付を行うので、ご確認いただきたい。</p>
会 長 挨 拶 閉 会	<p>以上で全ての内容が終了したため、会長は、本日の審議協力に礼を述べ閉会とした。</p>